

第6回利賀ダム環境検討委員会 議事要旨

開催年月日／会場	議 事	出席委員(敬称略)	議事要旨	
令和元年6月21日 利賀複合教育施設 アーパス ホール (南砺市利賀村)	①利賀ダム事業計画の概要と推移 ②これまでの検討状況 ③影響予測の検討方針 ④今後の予定	池本 良子(金沢大学理工研究域地球社会基盤学系教授) 大井 徹(石川県立大学生物資源環境学部環境科学科教授) 田中 晋(富山大学名誉教授) 中田 政司(富山県中央植物園園長) 中村 浩二(石川県立自然史資料館館長) 湯浅 純孝((公財)富山県民福祉公園自然博物館ねいの里顧問)	規約改訂、委員長の選出	<ul style="list-style-type: none"> 事務局案で規約の改訂が了承された。 前委員長の辞任に伴い、新たな委員長に湯浅委員が委員の互選で選出された。
			影響予測	<ul style="list-style-type: none"> 既に侵入している外来種をいかに広げないかと言うことにも注意し、影響予測を立てていってほしい。 緑化した法面が動物の餌場となり、動物が増加することによる獣害の発生や、法面を動物が掘り返すことによる法面崩落の危険性の増大なども考えられる。 全国のダムで実施しているフォローアップ制度に基づく調査・検討結果が、予測評価に活用できるのではないか。
			環境保全措置	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅危惧種の植物のうち保全対策が必要なものについては、新たな移植候補地の選定とともに、生育域外保全も検討していただきたい。
			モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ダム完成後も調査を継続していくと考えられるが、既存の調査データの活用を踏まえた調査手法などを検討していただきたい。
			その他	<ul style="list-style-type: none"> 影響予測、評価という観点から、特に昆虫類などこれまで取得した調査データの活用方法を検討していただきたい。